

「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	ふくいブランド米推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金									経過年数		
補助率	県1/2、10/10									1 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・卸売業者や米穀専門店での評価は高いが、全国での消費者認知度の向上が必要 ・販売店舗数が昨年比30%増加しているが、店舗あたりの販売量拡大や既存系列量販店の店舗数拡大の余地がある ・米消費拡大運動の推進のために、米食の有効性について普及する必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] いちほまれ販売店舗数 2, 200店舗 いちほまれ買取価格 12, 500円/俵 いちほまれ都市圏認知度 26%						
[事業目的] 「いちほまれ」は本格生産・販売開始から5年が経過し、販売エリアや販売店舗数の拡大とともにブランド米としての認知は高まりつつある。新たに策定される第3次いちほまれブランド戦略では、販売価格上昇と生産量拡大の両立を基本方針とし、高価格販売店舗と連携した販売を展開して全国的なトップブランドとしての地位確立を目指す。												
[事業内容] (1) 特徴ある産地ブランドの生産販売支援 ・品質保証体制強化整備、主要産地紹介パンフ作成 など (2) CMと相乗効果のある認知機会創出 ・WEB広告の拡充、OOHの強化、ラッピング電車 (3) 新幹線開業に向けたPR環境整備 ・県内新幹線駅広告、いちほまれ使用店でのPR強化 ①高価格帯での販売および販売量の拡大 ・マネキン推奨販売強化による高価格販売店舗の拡大 など ②業態に応じた販売促進活動 ③テレビCMの作成・放映による認知度向上 ④各種イベント等への出展、参画 ⑤米消費拡大活動の展開												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「いちほまれ」トップブランド確立事業 (実績) ・首都圏や関西・中京圏を中心に販路を拡大し、CMや全国ネットのテレビ番組での放送をはじめ、様々な機会を捉えて「いちほまれ」のおいしさを全国に発信した。 ・販売店舗が2,200店舗まで拡大した。				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「いちほまれ」生産対策事業 (役割分担) 生産対策					
市町との連携状況					他県の状況		・山形県 山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化推進事業 ・新潟県 新潟米ブランド強化事業 ・富山県 「富富富」戦略推進事業					

「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸			
事業主体	ふくいブランド米推進協議会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	負担金													
補助率	県1/2、10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	200,000					200,000								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		130,000	120,000	300,000	199,420	200,000	・特徴ある産地ブランドの生産販売支援、CMと相乗効果ある認知機会創出、新幹線開業に向けたPR環境整備のため増額							
2月現計予算額の推移		133,240	120,000	300,000	199,420									
決算額の推移		132,356	120,000	300,000										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度は、CM放映回数の倍増、主要卸業者への営業強化による増額 ・ R4年度は、CM放映エリアの拡充および全国量販店での販売促進企画による増額 												
[成果指標等の推移]														
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生産量 (トン)				(7,000)	(8,500)	-	(12,000)	R7年度の生産量1.2万トン					
		実績	5,000	6,000	7,000									
活動指標	いちほまれを販売する店舗 数(店)				(2,200)	-	-	(3,200)	R7年度の販売店舗数3,200店舗					
		実績	1,092	1,216	1,700	2,243								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店を新たに543店(累計2,243店)開拓し、活動指標は達成した。 ・ R4.11月に実施した消費者認知度が26%(前年度比+2%)に向上した。 				テレビCMに加え相乗効果のある認知度機会を創出することで消費者認知度を高めるとともに、マネキン推奨販売の強化や全国量販店での販売企画の実施により、取扱店舗数および販売量を拡大する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井県産米販売強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・令和5年6月末民間在庫量の見通しは200万トン ・新型コロナウイルスの影響による米の需要減少や、生産コストの高騰が生産者の所得減少に直結						[問題・課題を表す客観的データ] ・主食用米の需要量は10万トン/年ペースで減少し、令和4/5年の消費量(推計値)692万トン ・R3年産主食用米の相対取引価格(R4.8) 前年同月比▲1,116円/60kg						
[事業目的] 福井県産米の主要な流通先である関西・中京圏を中心とした販売先確保と価格維持のための販売促進活動を強化する。												
[事業内容] ○情報発信力の強化 ・福井県産米のキャンペーン展開 ○営業力の強化 ・販売促進グッズの作成 ・卸業者と連携した販促活動の実施												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県産米販売強化事業 (実績) 新米時期を中心とした県産米キャンペーンを支援し、有利販売を推進したほか、米穀卸業者の取引のある系列店におけるクローズドキャンペーンや専用袋作成、マネキン推奨販売等を実施し、福井県産米のPR・販売量向上を図った。				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業 (役割分担) 「いちほまれ」の知名度向上を目指した販路確保・PR対策					
市町との連携状況					他県の状況		・新潟県 新潟米ブランド強化事業 107百万円 (R4) ・富山県 「富富富」戦略推進事業 82百万円 (R4) ・石川県 いしかわの米消費拡大推進事業 50百万円 (R4.6補)					

福井県産米販売強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助								経過年数	4 年		
補助率	県1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	28,000				28,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		100,000	27,800	27,800	27,000	28,000	新型コロナウイルス等の影響を受ける県産米の販売支援を強化するため増額					
2月現計予算額の推移		100,000	27,800	27,800	27,000							
決算額の推移		98,000	25,852	27,800								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	米産出額(億円) (目標) 実績		(314) 288	(316) 236	(318)	(320)	(320)	(320)	新ふくい農業基本計画			
活動指標	オープンキャンペーン実 施回数(回) (目標) 実績		(1) 1	(1) 1	(1)	(1)	(1)	(1)	福井県産米の販売・PRにつながるキャンペーンの実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
福井米キャンペーン応募実績 R4: 74,373件(9~11月) クローズドキャンペーン参加店舗 R4: 245店舗 オープンキャンペーンは目標どおり開催した。				新型コロナウイルスの影響により店頭イベントやマネキンによる斡旋販売の実施が困難なため、米卸業者と連携した販売促進キャンペーンを継続する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいそばの魅力全国発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	県、福井そばルネッサンス推進実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/2、1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・日本一高い評価(「そばがおいしい都道府県 1位」「おいしいそば産地大賞 2020 1位」)を得ているが、そば処のイメージは低い ・他県産との差別化を明確にしたPR対策が必要						[問題・課題を表す客観的データ] そば県といえば、どこ?(Jタウンネット調べ) 1位長野県 4位 福井県 そばがおいしそうな都道府県(ニュースサイトしらべぇ調べ) 1位長野県 (ランク外) 福井県						
[事業目的] 本県のそばの魅力を県内外に強力にPRするとともに、県産そばの消費拡大を目指す。												
[事業内容] 1 PR対策 ○県外へのPR ①日本全国そばグルメ博(R6開催)の企画検討 ②県外でのふくいそばPR 首都圏で開催されるイベントでそば処福井県やそばグルメ博の開催をPR ○モバイルスタンプラリーの実施 ③県内観光地や県内外認証店と連携し実施 ふくいそばOnlineを活用し、県内観光地や県内外認証店と連携したスタンプラリーを実施 ○ブランド推進 ④ブランディング・認証店の拡大 全国に向けて「ふくいのそばは日本一おいしい」のイメージ定着を目指す ○全日本素人そば打ち名人大会の開催 全国のそば打ち愛好家、県内高校生、県民を対象 ○福井県高校生そば打ち選手権大会の開催 県内高校そば部(4校)を対象 2 生産対策 ○在来種の品質確保対策												
[受益者] 県内そば生産者、実需者(そば店等)						[想定される受益者数] 1,550経営体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ふくいそば」ブランド確立事業(実績) 大都市の百貨店4か所において県産そば粉100%のそばを提供する店を出店したほか、福井駅前で大日本素人そば打ち名人大会を開催し、県内外で県産そばをPRした。				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい農林水産グルメイベント開催事業(役割分担) 日本全国そばグルメプレ博の開催事業					
市町との連携状況	・福井市(嶺北連携中枢都市圏)と連携し、県産そば使用店への誘客を促進するためのモバイルスタンプラリーを実施 ・福井市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町と連携し、全日本素人そば打ち名人大会を開催				他県の状況							

ふくいそばの魅力全国発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸			
事業主体	県、福井そばルネッサンス推進実行委員会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	県1/2、1/3													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	23,890					23,890								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		6,901	14,421	19,982	23,890	ふくいそばのブランディングにて作成したロゴマークやキャッチコピーを用いてPRを行うための増額								
2月現計予算額の推移		4,243	14,421	19,982										
決算額の推移		4,191	8,657											
前年度までの主な増減理由	R2年度は「ふくいそば」ブランド確立事業 R3年度は「ふくいそばの魅力全国発信事業」に改変したうえで、モバイルスタンプラリー等の実施のため増額 R4年度はふくいそばのブランディングやふくいそばグルメイベント企画検討のため増額													
[成果指標等の推移]														
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	県産玄そば使用量の増(t)	(目標)	(182)	(200)	(220)	-	(220)	「おいしい福井県産そば使用店」認証店での年間玄そば使用量						
		実績	165	210										
活動指標	スタンプラリー実施回数	(目標)	(1)	(1)	(1)	-	(1)	モバイルスタンプラリーの実施						
		実績	3	3										
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
・令和4年度新規「おいしい福井県産そば使用店」認証店 4店舗 ・モバイルスタンプラリー 発行スタンプ数 4,920個 (2/15時点)				・新幹線開業を見据え、県外から誘客するため、R6開催のグルメ博企画検討や、ブランディングしたふくいそばのPRグッズを作成する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくい農林水産グルメイベント開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	福井そばルネッサンス推進実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・日本一高い評価 (「そばがおいしい都道府県 1位」「おいしいそば産地大賞 2020 1位」) を得ているが、そば処のイメージは低い ・他県産との差別化を明確にしたPR対策が必要						[問題・課題を表す客観的データ] そば県といえば、どこ? (Jタウンネット調べ) 1位長野県 4位 福井県 そばがおいしそうな都道府県 (ニュースサイトしらべぇ調べ) 1位長野県 (ランク外) 福井県						
[事業目的] 本県のそばの魅力を県内外に強力にPRするとともに、県産そばの消費拡大を目指す。												
[事業内容] ・県内外のそば店やそば打ち団体を集めたそばグルメイベントの開催 (R5: グルメプレ博、R6: グルメ博)												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいそばの魅力全国発信事業 (実績) 4年度にプレグルメ博の実施内容を企画検討した				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいそばの魅力全国発信事業 (役割分担) ふくい農林水産まるごとフェスタと合同開催するため本事業を切り分けしたもの					
市町との連携状況	・福井そばルネッサンス推進実行委員会に参加する嶺北8市町と協力して開催				他県の状況							

ふくい農林水産グルメイベント開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸		
事業主体	福井そばルネッサンス推進実行委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額					■ その他			<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	10,062					10,062							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							10,062	—					
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由		—											
[成果指標等の推移]													
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県産玄そば使用量の増(t)	(目標) 実績		165	(182) 210	(200)	(220)	-	(220)	「おいしい福井県産そば使用店」認証店での年間玄そば使用量			
活動指標	参加店舗	(目標) 実績					(12)	-	-				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業が予定され、本県への注目度が高まる中、時期を逸せず に九頭竜川下流域で生産される農産物を県外消費者・実需者に売り込む必要 がある						[問題・課題を表す客観的データ] 県内産主要野菜の出荷量の内、県外市場の比率 26% (令和3年 経済連出荷実 績)						
[事業目的] 九頭竜川パイプライン受益地区で生産された高品質・良食味な米や園芸作物を県内外に広くPRし、生産拡大や販売促進につなげる。												
[事業内容] ○ 関西量販店での清流米販売促進 ・ 販売店舗でのポイント付与キャンペーンの実施 ・ 新米販売フェアでの試食提供 ○ 都内小学校での坂井産米提供と出前授業 ・ 品川区の小学校で実施 ○ イベントへの参画 ・ イベント会場でのお米の配布 ・ 九頭竜川下流域農業用水の紹介パンフレット配布 ○ 情報発信 ・ 雑誌等での広告掲載 ○ 直売所支援 ・ 新米販売フェアの開催支援 ○ 鳴鹿土地改良区視察対応 ・ 見学者への坂井産米おにぎりの試食提供												
[受益者] パイプライン受益地区の生産者						[想定される受益者数] 5,390人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・ 坂井市、あわら市との共同イベント				他県の状況							

九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸		
事業主体	九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	定額												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,000					5,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			5,000	5,000	5,000	5,000	5,000						
2月現計予算額の推移			5,000	5,000	5,000	5,000							
決算額の推移			5,000	5,000	5,000								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内主要産物6品目の県外市場出荷量(億円)	(目標) 実績	(25) 25	(26) 26	(30)	(31)	(32)	(32)	(32)	越のルビー、サトイモ、らっきょう、とみつ金時、福井梅、越前水仙			
活動指標	県外でのイベント・キャンペーン実施回数	(目標) 実績	(2) 1	(2) 2	(2) 4	(2) 1	(2)	(2)	(2)	県外量販店でのフェア・イベント実施回数の実施			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
関西量販店での坂井産米販売量 令和2年産 139トン 令和3年産 315トン 令和4年産 124トン								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井米生産体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体	福井県農業協同組合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国4/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井中央育苗センターは老朽化が進み、施設内の機械が古く自動化されていないため、作業人員を多く要し、かつ手作業が多く、均一な高品質苗の生産が難しい状態 ・ 主食用水稻の作付面積は減少が続き、農家所得向上のためには収量向上が必要 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井中央育苗センター 昭和51年建設で44年経過 ・ 育苗に係る人員 31人 (更新後の施設の人員23人) ・ 多収性品種割合 10% (更新後の目標割合25%) 						
[事業目的]												
水田農業における所得向上を図るため、水田営農条件の整備に必要な機械・施設の導入を支援する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○福井中央育苗センターを新たに建築し、福井北部地区、福井西部地区の育苗管理を福井中央地区に集約することで、効率化、機能向上を図る。 ○施設整備に併せて受益地区を多収性産地化により農家所得の向上を図る。 												
[受益者] 地区内米生産者						[想定される受益者数] 757人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				事業名	関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)				
市町との連携状況					他県の状況							

福井米生産体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸			
事業主体	福井県農業協同組合				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		R5 年度			経過年数
補助率	国4/10								<input type="checkbox"/> その他		1 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	297,432	297,432				強い農業づくり総合支援交付金の産地基幹施設等支援タイプ								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移	622,350	286,310	-	455,257	297,432	年度ごとに申請施設が異なるため金額が増減するもの								
2月現計予算額の推移	550,000	208,300		226,186										
決算額の推移	540,959	208,300		0										
前年度までの主な増減理由	R4は育苗施設（JA福井県）整備を支援 R2は種子乾燥調製施設（JA福井県）、穀物低温倉庫（JA福井県経済連）整備を支援 R元は乾燥調製施設（JA花咲ふくい）整備を支援													
[成果指標等の推移]														
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	上位等級率（％） (目標) 実績	91.8	90.7	91.5			(97)	上位等級比率 96.6% 農産物検査実績						
活動指標	施設の統廃合（個所数） (目標) 実績	2	2	2	2		(1)	(1)	施設整備数 2施設を再編し機能を1施設に統合					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
4年度は福井東部育苗センター整備を支援				事業対象が異なることによる金額変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	157,825			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

「いちほまれ」生産対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営			経過年数						9 年		
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・食味ランキング「特A」評価の継続した獲得 ・資材価格高騰や米価低迷を受けても所得が確保できる低コスト・多収技術の確立 ・さらなる面積拡大に伴う生産者数の増加 						<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年産食味ランキング評価「A」 ・十分な所得が確保できる単収 (8.5表/10a) 以上の生産者は全体の56% ・令和4年産いちほまれ生産者数 463人 (担い手408名、一般55名) 						
[事業目的]												
「いちほまれ」を全国トップクラスの評価を継続的に得ながら生産拡大していくため、技術課題の短期間で解決する指導体制の整備、実証圃の設置、プライドを持って生産にあたる意識の醸成を進める。												
[事業内容]												
○高品質・高付加価値・高所得を満たす生産拡大 (1) 食味品質向上実証圃の設置 (2) 収益最大化実証圃の設置 (3) いちほまれ生産推進大会の開催 (4) 生産圃場の看板を配布 (5) 生産力を養う技術研修会の開催												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ポストこしひかり」生産対策事業 (実績) ・10系統から1系統 (いちほまれ) を選抜 ・栽培マニュアル作成 ・H29年度 生産者131名、栽培面積120ha、生産量600t				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業 (役割分担) 「いちほまれ」の販路確保・PR対策				
市町との連携状況						他県の状況		・山形県 山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化推進事業 123百万円 (R4) ・新潟県 新潟米ブランド強化事業 107百万円 (R4) ・富山県 「富富富」生産振興対策事業 725万円 (R4)				

「いちほまれ」生産対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			9 年								
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	7,219					7,219						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			22,652	20,068	7,185	6,908	7,219	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に応じた実証圃の設置 ・ 生産者数増加に伴う事務経費の増加 				
2月現計予算額の推移			12,127	7,668	7,185	6,908						
決算額の推移			11,988	6,783	6,565							
前年度までの 主な増減理由		令和3年度より、特別栽培を拡大するために必要な機械導入経費を支援を廃止										
[成果指標等の推移]												
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	いちほまれ一等米比率 (%)	(目標)	(97)	(97)	(97)	(97)	(97)	(98)	(98)	つや姫の一等米比率98% (H29~R3平均)		
		実績	93.7	96.3	97.8	96.0						
活動指標	いちほまれ生産量 (t)	(目標)	(4,000)	(5,000)	(6,000)	(7,000)	(8,500)	(10,000)	(12,000)	H30 本格生産販売開始 (生産・販売量はふくいブランド米推進協議会で決定)		
		実績	4,000	5,000	6,000	7,000						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
研修会やマニュアルを整備し生産者463名を確保 (R4年産) いちほまれの一等米比率 96.0% (R4年産)				<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に応じた実証圃の設置 ・ 生産者増加に伴う事務経費の増加 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井米体質強化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸	
事業主体		福井県JAグループ（JA福井県・JA福井県経済連）			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]			関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ・近年の輸送業界の担い手不足から、米袋輸送が敬遠され、米出荷に遅れが生じている ・輸送コスト高騰による生産者負担の増加や実需者からの要望に対して適時に輸送できないことにより、福井米の評価低下につながる						[問題・課題を表す客観的データ] 紙袋ばら積みは作業効率が低く、ドライバー負担となるため敬遠される。 米の荷下ろし作業時間(13t)紙袋ばら積み：最大90分、フレコン：最大60分(ばら積みの1.5倍の作業性)						
[事業目的] 米袋の輸送コストの高騰に対応するため、効率的な輸送システムの構築に対し支援し、農家の所得向上を図る。												
[事業内容] ○生産者の手間と輸送コストの低減 ・フレコン集荷の推進 ・生産者から米卸業者まで一貫した米袋パレット輸送の実施												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 1 福井県産米販売強化事業 2 土壌保全調査事業 1 福井米の販売先確保と価格を維持するための販売促進活動 2 福井米の収量・品質を向上させるための土壌状況の把握				
市町との連携状況						他県の状況						

福井米体質強化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸			
事業主体	福井県JAグループ（JA福井県・JA福井県経済連）				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金		R2 年度			経過年数
補助率	県1/2								□ その他		3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			40,000	30,000	28,500									
2月現計予算額の推移			40,000	30,000	28,500									
決算額の推移			38,742	30,000										
前年度までの 主な増減理由	令和2年度の実績を基に、単価と導入数量を計画から減少													
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生産者の所得向上 (億円/年)	(目標) 実績					(1.77)	(1.77)	資材費低減効果、労務費低減効果等の合計額					
活動指標	共通フレコン導入 (袋)	(目標) 実績	(9,000) 10,000	(90,000) 8,000	(7,000) 7,000				共通フレコン袋導入数 R2～4：計25,000袋					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価							
3年間で共通フレコン25,000袋を導入し目標を達成する見込みのため終了			—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	28,500				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

土壌保全調査事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課		課長名	角内 宏幸
事業主体	福井県経済連農業協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助									経過年数		
補助率	県1/2									3 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 土壌分析は水稻の収量・品質向上に向けた施肥改善に効果的であり、県内生産者から非常に強い要望を受けているが、全県調査は平成12年以来実施していない。						[問題・課題を表す客観的データ] 現在、地域JA毎に水稻肥料銘柄が多数存在しており、資材の集約がされていない。 (R2: 23種) 集約に必要な県内全域での土壌分析は平成12年以降実施されていない。						
[事業目的] 米の収量・品質を向上させるため、土壌状況の把握・分析に対し支援し、農家の所得向上を図る。												
[事業内容] ○県内9, 000地点を3年に分けて調査・分析 ・県内の土壌状況を把握し、使用する肥料を集約することにより生産者の資材コストを低減 ・分析結果を生産者にフィードバックし、生産者が適正な土壌改良資材を施用することにより収量・品質を向上												
[受益者] 県内米生産者						[想定される受益者数] 18,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名 土壌保全調査事業 平成9年～12年に国庫事業を活用し、県内10,126地点を県が調査分析				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況					他県の状況							

土壌保全調査事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	福井米戦略課	課長名	角内 宏幸				
事業主体		福井県経済連農業協同組合連合会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			経過年数		
補助率		県1/2					□ その他			3 年					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			7,040	3,975	3,975										
2月現計予算額の推移			7,040	3,975	3,975										
決算額の推移			5,243	3,975											
前年度までの主な増減理由		3,000箇所/年の調査を実施予定だったところ、調査単価の減(3,960円/地点→2,300円/地点)により、R2年度に4,000箇所の調査を実施 R3年度は2,500箇所の調査となったため予算が減													
[成果指標等の推移]															
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	資材コストの低減 (円/10a)	(目標)			(9,534)			(9,534)	農林水産省農業経営統計調査-農産物生産費-確報-米の道府県別生産費より肥料費を抽出 目標値はR2比△831円の9,534円/10a						
		実績	10,365												
活動指標	土壌分析実施件数累計 (件)	(目標)	(3,000)	(6,000)	(9,000)		(9,000)	(9,000)							
		実績	4,000	6,500	9,000										
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価							
3年間で9,000地点を調査、分析し、活動指標を達成する見込みのため終了				-				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	3,975				
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他					